

平成 19 年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	4
利用者の状況	6
デイケア事業	12
ナイトケア事業	19
児童デイサービス事業	23
相談支援事業	28
QOLの向上を目指した取り組み	33
地域交流事業	37
施設・事業所一覧	

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）健康

- ・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

（3）個別支援計画にもとづいた処遇

- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
- ・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
- ・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

（4）提供サービスの妥当性の確保

- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

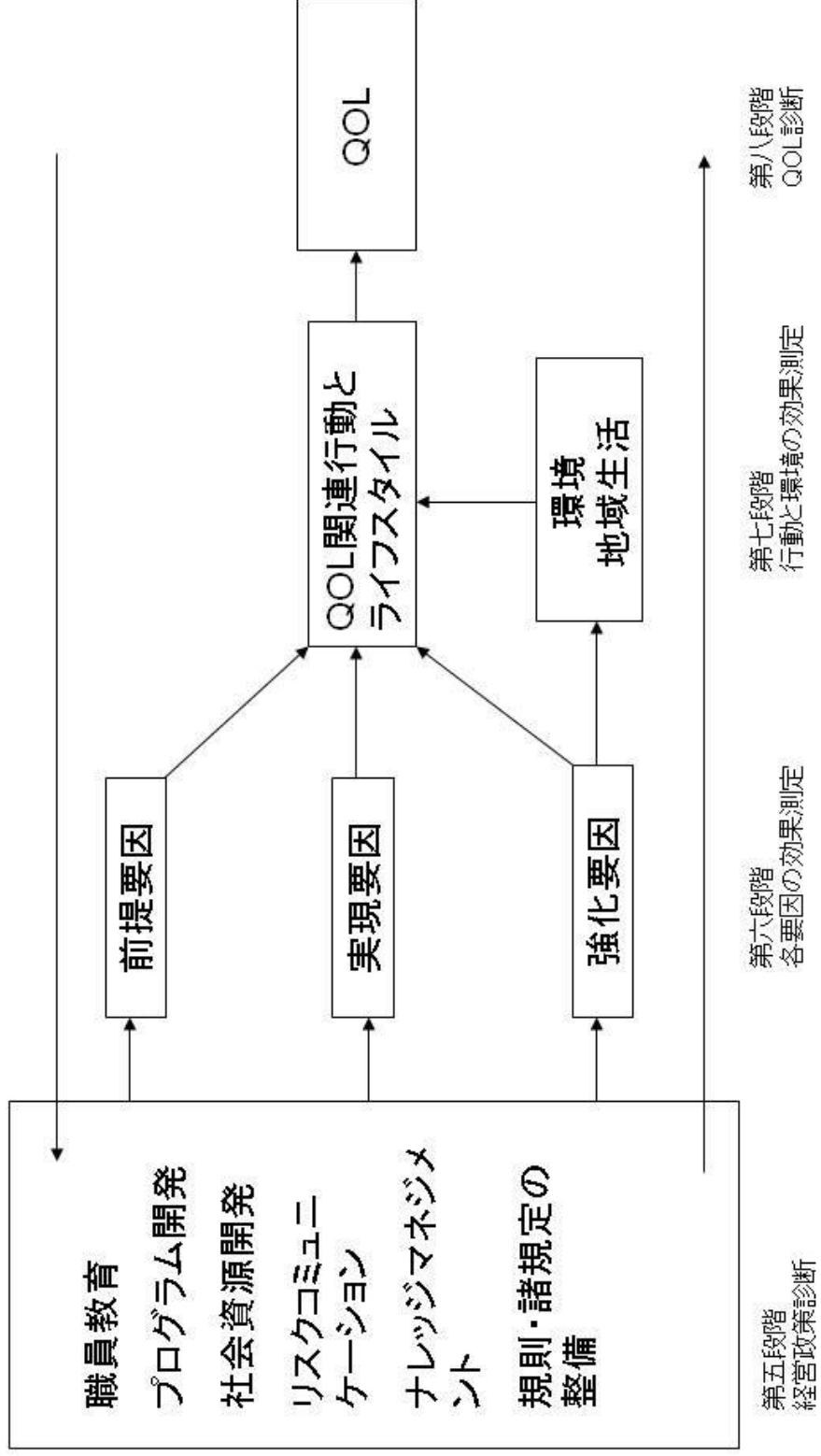
利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル

第一段階
社会的診断

第二段階
行動と環境の診断

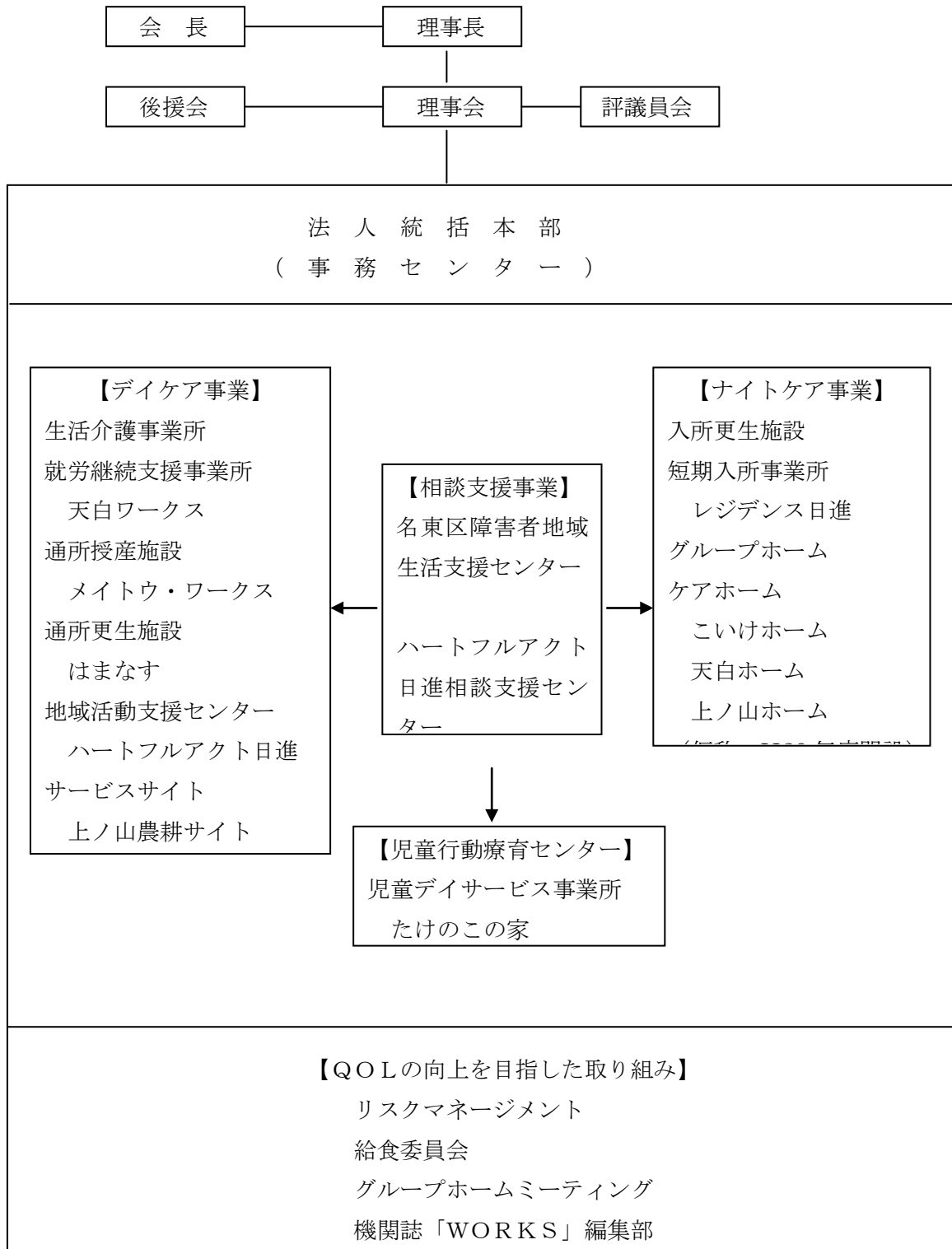
第三段階
応用行動分析

第四段階
経営政策決定



事業機構

1. 機構図



2. 職員構成（平成 20 年 4 月 1 日 現在・計 86 名）

	理事長	会 長	本部長	事務員	所 長	支援員等 相談員		看護師	栄養士	医 師
						男	女			
法人全体	1	1	1	3	6	31	40	1	1	1
メイトウ・ワークス					1	4	7			(1)
天白ワークス					1	5	6	(1)		(1)
はまなす					1	3	4			(1)
レジデンス日進					1	15	18	1	1	1
ハートフルA日進					(1)	1	1			
こいけホーム					(1)		1			
天白ホーム					(1)	1				
たけのこの家					1	1	2			
地域生活支援C					1	1	1			

* レジデンス日進の支援員等および栄養士は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(平成 20 年 4 月 1 日 現在)

名東福祉会は現在、200 名以上の利用者の方々に各種サービスの利用契約をいただいています。また、地域生活支援センターを設置し、東部名古屋地域の障害をもった方々の生活を支えています。

今年度は 5 月に、児童行動療育センター（児童デイサービス）「たけのこの家」がオープンし、障害をもったお子さんへの療育事業を本格的に開始しています。

1. 年齢分布

(1) 成人対象事業

* () は重複利用者の再掲

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2	1	3	5	1	3	13	7	6	3		1	45
天白ワークス	3		8	4	2		4	5	5	1	3	1	36
はまなす	3		3	3	2	1	6	4	4				26
レジデンス日進			2	2	1	3	14	6	4	3	1	4	40
ハートフルA日進			2						1			1	4
こいけホーム		1						3					4
天白ホーム									2		2		4
法人全体	8	2	18	14	6	7	37	25	22	7	6	7	159
	10		32		13		62(1)		29(2)		13(2)		(5)

(2) 児童デイサービス事業

	～2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
たけのこの家			4		10	5	8	1	5	3	5	2	43

2. 居住(出身)地分布

(1) 名古屋市市内分

* () は重複利用者の再掲

	名古屋市														計
	名東	天白	緑	千種	守山	昭和	瑞穂	中村	中川	南	北	港	東	中	
メイトウ・ワークス	29		1	3	3	1			1				1		39
天白ワークス	1	19	9	1		2			1	2					35
はまなす	15	5		2	1	2	1								26
レジデンス日進	4	7	3	1	2		2	1	1	1		1		1	24
ハートフルA日進	1														1
こいけホーム	2		1			1									4
天白ホーム		3			1										4
たけのこの家	6	5	2	2	2		3	3			2	1			26
法人全体	58 (1)	39 (3)	16	9	9	6 (1)	6	4	3	3	2	2	1	1	159 (5)

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外							
	日進	春日井	尾張旭	瀬戸	江南	他県内	県外	計
メイトウ・ワークス	4		1			1		6
天白ワークス	1							1
はまなす								0
レジデンス日進	6	1	1	2	2	4		16
ハートフルA日進	2					1		3
こいけホーム								0
天白ホーム								0
たけのこの家	6	5				4	2	17
法人全体	19	6	2	2	2	10	2	43

3. 障害の程度：障害程度区分認定結果

* () は重複利用者の再掲

	1		2		3		4		5		6		不明	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
メイトウ・ワークス	2	2	4	6	8	6	7	2	1	1	1	1	4	45
天白ワークス		1	5	2	3	2	12	4	4	2	1			36
はまなす			1		4	1	7	3	4	1	1	3	1	26
レジデンス日進							2	1	5	2	4	7	19	40
こいけホーム		1		2				1						4
天白ホーム			1		1		2							4
法人全体	2	4	11	10	16	9	30	11	14	6	7	11	24	155
*平均 3.77	6		21(2)		25(1)		41(2)		20		18			(5)

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

* () は重複利用者の再掲

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	6	3	2	5	16	11	1	1	45
天白ワークス	12	2	6	1	7	8			36
はまなす	10	2	5	2	3	1		3	26
レジデンス日進	13	8		1	9	8		1	40
ハートフルA日進	1		1		1	1			4

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
こいけホーム		1		1		2			4
天白ホーム					4				4
たけのこの家	31	11	1						43

法人全体	73	27	15	10	40	31	1	5	202 (5)
	100		25		71(5)		6		

(2) 重複障害

* () は重複利用者の再掲

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2	2			2	1	1	2	2	1	13
天白ワークス	2		1		1						4
はまなす	1	3		1			1	2			8
レジデンス日進	2	2				2			2	1	9
ハートフルA日進	1										1
こいけホーム											0
天白ホーム	2				1						3
たけのこの家					1						1
法人全体	10	7	1	1	5	3	2	4	4	2	39 (3)
	17(1)		2		8(1)		6		6(1)		

5. 利用期間

* () は重複利用者の再掲

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2		4	6	6	5	1	2	3		9	7	45
天白ワークス	5		4	1	4	4	3	2	3	2	6	2	36
はまなす	2		1	1	2	2	3	3	10	2			26
レジデンス日進				2	22	16							40
ハートフルA日進			1		2	1							4
こいけホーム		1						3					4
天白ホーム			1		1		2						4
たけのこの家	32	11											43
法人全体	41	12	11	10	37	28	9	10	16	4	15	9	202 (5)
	53		21(1)		65(1)		19(3)		20		24		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	35.5	35.3	34.7	35.2	34.5	34.6
天白ワークス	35	32.9	35.4	32.6	33	31.1	32.4
はまなす	30	23.2	23.7	23.3	23.3	23.3	23.4
レジデンス日進	40	38.2	37.6	39.0	38.4	36.9	38.5
ハートフルA日進	15	1.8	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8

こいけホーム	4	2.9	3.1	3.3	3.1	2.9	3.6
天白ホーム	5	5.0	4.8	4.8	4.4	4.0	4.8
たけのこの家	10		2	3	4	5	5

10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度平均	前年度平均	
36.5	35.4	36.7	36.9	37.3	36.3	35.7	33.3	メイトウ
31.7	30.9	32.2	30.3	28.9	29	31.7	32.3	天白W
23.3	22.5	23.1	23.1	23.1	24.5	23.3	23.0	はまなす
38.9	38.8	36.9	36.3	37.8	37.7	37.9	37.1	レジデンス
1.7	1.8	1.8	1.6	1.8	1.9	1.8		ハートフル
3.8	3.5	3.4	3.3	3.4	3.6	3.3	3.5	こいけH
4.9	5.0	5.0	4.9	4.2	4.1	4.7	4.3	天白H
5	6	6	6	6	6	5		たけのこ

* はまなすは、地域との話し合いで、25名程度の利用を目安としている

* グループホームは、算出上、週末帰省日は除外

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
119	129	131	135	122	127	132	134	151	127	116	134	1,557

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
15	16	16	15	14	10	13	9	8	7	7	11	141

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市・長久手町・尾張旭市

7. 通所施設時間延長サービス利用者数（16：00～17：00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	2	4	2	2	3	7
天白ワークス					1	1
はまなす	5	8	11	4	5	5
法人全体	7	12	13	6	9	13

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
15	16	18	22	25	23	139	メイトウ・ワークス
1			1	1		5	天白ワークス
4	5	4	4	5	4	64	はまなす
20	21	22	27	31	27	208	法人全体

デイケア事業

名東福社会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの開発を積み重ねてきました。自立支援法に基づく事業移行を控え、今後も利用者のニーズに基き、生活介護から就労系サービスまで、総合的な事業展開を目指していきたいと考えています。

また、法人資源の相互利用を図り、利用者の選択肢の拡大、特に生活施設の利用者の暮らしが限られたものにならないよう留意していきます。

1. 作業プログラム

(1) 実施種目と年間売上状況 (単位：円)

	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	577,538	1,003,372			1,580,910
縫 製	2,669,905				2,669,905
Kタオル	222,590				222,590
製パン		3,020,765			3,020,765
クッキー		1,242,070			1,242,070
ビーズ	3,565		600		4,165
下請け他	2,344,994	2,117,217	214,696	538,510	4,140,272
計	5,818,592	7,383,424	215,296	538,510	13,455,822

* 参考：平成 18 年度

計	2,925,385	7,716,156	332,470	600,543	11,574,554
---	-----------	-----------	---------	---------	------------

(2) 作業内容

● 陶芸作業

はし置き、一輪挿し、フリーカップ、お皿など生活を彩る陶器を製作。土に触れる段階から製作、絵付け、釉掛け、焼成後の仕上げと工程の多いプログラムのため、多くの利用者が参加しやすい。単純で分かりやすい作業内容の提示を心掛けている。

毎年、フロール展に作品を出展。開催中に、見学に出かける。

● 縫製作業

各種ぬいぐるみを製作。各地の保育所や子育てサークルから注文を受ける。作業工程が幅広いため選択性が高く、多くの利用者が参加しやすい。

● キッチンタオル袋詰め

台所用かやふきんをセット、袋詰めして販売。自助具等を用いて作業工程を工夫している。

● 製パン作業

余分な添加物を一切加えず、国産小麦と菜種油を原料にしたこだわりのパンを製造。「安心でおいしい」パンとして、保育園や老人ホームでの給食メニューとしても好評。

● クッキー作業

生地作りから焼成・袋詰めまでの全工程を1日で終わることができ、利用者にとって分かりやすいプログラム。各種団体から注文をいただいている。

● ビーズ作業

携帯ストラップ、グラスコード、キーホルダーなどのオリジナル製品を製作し、各地の福祉の店やバザーで販売。作業工程の構造化を図っている。

● 下請作業

作業内容の明確な、利用者に分かりやすいプログラムとして全施設で提供。積極的に環境の構造化を行っている。自動車部品や水道管パーツから、インスタント飲料のセッティングまで種目は様々で、各施設複数種目を提供することで選択性に留意している。

(3) 利用者給与支給状況 (単位：円)

	支給形態	年間総額	平均月額／人
メイトウ・ワークス	150 円／日の基本給に出来高払を加算。最も多い方で 14,670 円／月。夏・冬季賞与あり。	2,640,710	5,020
天白ワークス	150 円／日と 70 円／時の併用。最も多い方で 7,700 円／月。夏・冬季賞与あり。	1,677,845	4,112
はまなす	その月の通所率が 50%以上の方を対象に 1,000 円／月支給。	289,000	1,000
レジデンス日進	作業収入を、半年毎に能力別に支給。最も多い方で 2,400 円／月となる。	614,400	1,219

2. レクリエーションプログラム・イベント

(1) 主なレクの実施状況

	日帰り旅行	バスハイイク	グループハイイク	プール活動	公演・季節行事	グループ活動	競技会参加
メイトウ・ワークス	○	○	○	○	○		
天白ワークス	○				○	○	○
はまなす	○	○	○	○	○	○	○
レジデンス日進	○				○		○

(2) 実施内容

● 散歩プログラム

小グループでのリフレッシュ活動。作業プログラムと並行して各施設で実施。
公園での散策やドライブ、文化施設の利用など参加メンバーの好みに応じて企画。
地域の方々との交流の機会ともなっている。

● バスハイク／日帰り旅行

全員参加の屋外活動。バスによる移動も、利用者にとって大きな楽しみとなっている。
施設により、2回に分けて実施している。家族を伴った交流の機会ともしている。

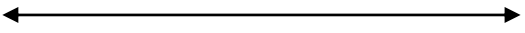
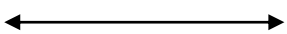
	メイトウ・ワークス		天白ワークス		はまなす		レジデンス日進	
	日	行先	日	行先	日	行先	日	行先
5月			2	岡崎東公園				
6月					8	なばなの里 (家族交流)		
7月							14	スペイン村
9月	21	浜名湖パルパ ル					26	駒ヶ根アル プスの丘
11月			16	リトルワールド				
			22	名古屋港水族館				
			30	あいち健康の森				
2月					8	浜名湖ロイ ヤルホテル (家族交流)		
3月				東山動植物 公園(4/2に 延期実施)			19	愛知こども
							26	の国:イチゴ 狩
計	1回/人		1~2回/人		2回/人		2回/人	

● グループハイク

小グループによる屋外活動。より個別性に配慮した楽しみ方が特徴。
はまなすでは、全体外出行事を減らしてグループ外出機会を増やし、レク活動の効
率的な実施や個別ニーズの充足に努めている。

	メイトウ・ワークス		はまなす	
	日	行先 (参加者数)	日	行先 (参加者数)
4月			13	岡崎城方面 (6)
			18	デンパーク (6)
			25	各務ヶ原航空博物館 (3)
5月			11	春日井：ランチバイキング (4)
			16	ボウリング (6)
6月			15	各務ヶ原：河川環境楽園 (4)
			20	小牧四季の森：バーベキュー (4)
			29	栄：カラオケ・ショッピング (6)
7月	24	なばなの里(4)	4	コカコーラ工場見学・ショッピング(5)
			11	名古屋港水族館 (6)
8月	3	中川：映画・ボーリング(5)		
9月	11	ラグーナ蒲郡 (9)	26	岡崎：ぶどう狩り (4)
10月	5	日本モンキーパーク (4)	5	刈谷：ランチバイキング (6)
	12	なばなの里 (6)	12	愛知こどもの国 (3)
			17	セントレア中部空港 (5)
			26	大府げんきの郷：足湯とランチ (7)
2月			15	知多半島グルメ旅 (4)
			22	博物館明治村 (4)
			27	イタリア村 (5)
3月	7	南知多グリーンバレイ (3)	4	八丁味噌工場見学と味噌料理 (7)
			19	イタリアンレストランと東山動植物園 (5)
計	1回/人		4回/人	

● プール活動

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
メイトウ・ワークス	 障害者スポーツセンター内を利用。希望者制で実施。ニーズや個人目標に応じて、健康維持・体力維持を図った。					
はまなす	 名東スポーツセンター・障害者スポーツセンター内を利用。季節感を意識して全員を対象に実施した。					

● 外部団体等の公演・季節行事

	実施日	内 容
メイトウ・ワークス	4/6	花見会：施設グラウンドにてゲーム・合唱等
	7/6	七夕会：「ポケットの会」公演
	12/21	クリスマス会：「ポケットの会」公演
	2/7	節分会：「めいとう朗読グループ」公演
天白ワークス	8/8	マジックショー
	10/24	ヴィオリラコンサート
	12/11	クリスマス会（ボランティア感謝祭を兼ねる）にて、 ゴスペルコンサート
はまなす	月 2 回	音楽療法講師による歌・演奏・ダンス
	不定期	「わくわくフレンド」講師による折り紙教室
	8/16.17	夏まつり：カラオケ・模擬店・ゲーム・お菓子作り
	12/28	忘年会：ボランティアも招待してのパーティー
レジデンス日進	月 1 回	音楽療法講師による歌・演奏・ダンス
	4/28	春まつり：たけのこ掘り
	7/1	七夕コンサート：ドクターズバンド公演
	12/2	クリスマスコンサート：ドクターズバンド公演
	12/8	レジデンス日進まつり：野方地域お囃子・ 「LILY THE LINX」公演
	12/21	クリスマス会
	1/26	新春もちつき大会

● グループ活動

	実施日	内 容
天白ワークス	月 1 回	レクリエーション活動
	4/4	製パン・クッキーグループ花見
	6/6,6/11	フロール展見学
	1/9	製パン・クッキーグループ ミッドランドスクエア・電気の科学館見学
はまなす	毎週金曜日	スポーツ活動
	隔週木曜日	名東図書館利用
	毎月 1 回	おもちゃ図書館利用

● 競技会参加

	実施日	内 容
天白ワークス	5/9	名障連の主催するソフトボール大会に参加
はまなす	9/28	県福祉協会の主催するソフトボール大会に参加
レジデンス日進	11/7	県福祉協会の主催するフットベース大会に参加

● その他

<メイトウ・ワークス>

施設内食堂にておやつ作り (6/21)

障害者スポーツセンター内体育館にてスポーツレクリエーション (年 6 回)

<天白ワークス>

成人式 2 名 (1/15)

<はまなす>

家族交流を兼ねて、障害者スポーツセンターにてスポーツ大会を実施 (11/30)

<レジデンス日進>

中京テレビ・ブリヂストンレディースオープン観戦招待 (5/18)

おやつ作り (週末)

ナイトケア事業

現在、名東福祉会はナイトケア事業として、入所更生施設 1 ケ所とグループホーム 2 ケ所を運営しています。活動的な日中プログラムとは対照的に、落ち着いた生活環境の設定に重点を置いています。

入所施設は 10 名前後のユニット単位で支援が行われ、利用者ひとりひとりの生活リズムを大切にしています。また、ユニット、ホームとも男女別としています。

平成 20 年度には、ケアホームを新設します。

1. 生活モデル

利用者ひとりひとりの生活リズムの安定を図るため、生活モデルを設定した。入所施設においても毎日、個別の入浴機会を設けて快適さを求めた。

時間	レジデンス日進	こいけホーム	天白ホーム
6:00	起床・朝食	起床・朝食 出勤・通所	起床・朝食 通所
9:00	日中活動へ出発 (法人施設・ サービスサイト等)		
12:00	帰着・昼食 日中活動へ出発		
15:00	帰着	帰着	帰着
18:00	入浴 夕食 入浴・洗濯	夕食 入浴・洗濯	入浴・洗濯 夕食 入浴・洗濯
22:00	就寝	就寝	就寝

2. 各種支援サービス

(1) ユニット単位の支援

4名(グループホーム)～10名(レジデンス日進)のグループ単位での生活支援を行うことで、個別ニーズの充足に留意した。特に入浴は、毎日個別に行っている。

(2) 金銭等の管理

レジデンス日進利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨として行った。利用者40名中、預金管理対象者5名、現金管理対象者35名。

グループホームについては、個別出納帳により職員が管理し、併せて所長・家族の収支確認を行った。

(3) 健康管理

生活施設における健康管理の重要性を踏まえ、看護師を中心となって以下のように取り組んでいる。看護師は1名のみ配置であるため、多くの場面で看護師と現場の支援員の連携が求められる。地域医療機関との連携にも留意している。

● 定期健康診断

年2回の健康診断(6/12、12/4)と歯科検診(10/18)を行った。

健診内容は、胸部レントゲン・血圧・検尿・血液検査・心電図。

● 体重測定

月1回実施し、体重の増減に応じて栄養士、看護師、支援員が個別の食事摂取量等を調整した。

● 血圧測定

月1回実施し、特に数値が高い場合は受診につなげた。

● 感染症対策

インフルエンザ予防接種を年1回(11/15)実施。施設内での感染者を極力抑えるために、利用者・職員とも全員を対象に毎年行っている。実施時期は、看護師と協力医療機関との間で調整。

また、会議において、インフルエンザおよび胃腸かぜの感染を最小限に抑えるため、感染症対策の周知を全職員を対象に行った。具体的には、日常的な手指消毒、トイレ内の消毒を徹底した。

足白癬(水虫)の感染予防のため、入浴後の足拭マットの管理や塗薬も個別に行っている。

● がん検診(胃がん、子宮がん)

体調の変化、年齢等から個別に実施した。

● 緊急対応マニュアル整備

てんかん発作の際の個別対応シートを作成し、特に夜間帯における対応方法を職員会議で確認した。またより早く対応できるよう、シートを各ユニットに設置した。

● 体調シート

毎日の体調および傷や怪我の位置、状況を記入できるシートを作成した。特に傷や怪我については、入浴時にチェックを行うことで、正確な情報が得られるようになり、職員間の引継ぎおよび家族への説明がより明確なものとなった。

● 通院支援

看護師の判断を基準に、体調不良の方に対しては、早めに必要な医療機関への受診を行った。精神科、歯科、眼科、皮膚科への継続的な受診を合わせると、月平均50件ほどの頻度となる。

● 往診

地域の協力医療機関によって月2回実施。看護師が、協力医療機関へ十分な情報提供をすることにより、医師による利用者の健康管理を行うことができた。

3. ケアホーム「上ノ山ホーム（仮称）」建設準備

平成 20 年度中に、日進市浅田町上ノ山においてケアホーム事業を開始することを目指して以下の準備を進めた。

平成 19 年 12 月 27 日

日進市へ事前協議書および事業計画概要書を提出

平成 20 年 1 月

近隣住民への共同生活介護事業所の開設についての挨拶文を配布、説明

平成 20 年 2 月 8 日

農地転用の届出受理

平成 20 年 2 月 22 日

日進市との特定開発等事業協定書の成立

平成 20 年 3 月 10 日

社会福祉施設整備費補助金申請

児童デイサービス事業

平成 19 年 5 月に、児童行動療育センター「たけのこの家」がスタートしました。いわゆる、お預かり的児童デイとは一線を画した、行動療法理論に基づくセラピーの場です。

児童期の過ごし方で、成人期の行動障害は軽減されます。特に就学前の療育のあり方は重要です。「たけのこの家」は、専門スタッフによるセラピーを通じて、ご家族に子どもへの正しい対応を学んでいただくことができます。

1. 利用児童の状況 (P.7~10 利用者の状況参照)

3歳児から小学生まで利用していただいています。3歳児検診の状況や、ことばが遅い、視線が合わない、多動である等に保護者が気づかれる3歳以降から利用を始める方が多く見られます。

また、行動療法を療育の手法としている児童デイサービスであるために、行動療法を受けるために利用を希望される方が利用希望者の大半を占めています。したがって、利用児童の居住地も、日進市、名古屋市全域にとどまらず、遠隔地からの利用者もみえます。

障害の種別としては、年齢が低いこともあり、障害名が付かない児童も見られますが、広汎性発達障害（自閉症）と診断された方が大半を占めています。

利用実績としては、5月の開所より、順次利用児童を受け入れてきており、1日あたり6名程の利用となりました。

● 居住地内訳 (計 43名)

名古屋市	26	春日井市	5	岐阜県 (多治見市)	1
日進市	6	他愛知県内	4	三重県 (伊勢市)	1

● 利用期間

	～1月		～3月		～6月		～9月		～1年		小計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人数	3	0	1	0	4	2	10	3	14	6	32	11	43

2. 利用相談内容

利用にあたっての相談では、年齢が低い段階では「子どもとやりとりができない」「視線が合わない」等の親子間に関する相談が多く、年齢が上がっていくに連れて「ルールが守れない」「お友達とのやりとりができない」等、社会性に関する相談が多くなっています。

保護者の相談数は、子どもの特徴がはっきりしてくる3歳以降と、小学校入学を控えた6歳児に多く見られます。

	ソーシャルスキル	多動	パニック	言語	自己刺激	他害	コミュニケーション	視線	こだわり	異食	計
～2歳											0
3歳		1		1			3	1	1	2	9
4歳	5	2	4	4	2	1	5	1	5	1	30
5歳	4	1	2	3	1		2		1		14
6歳	2	1	3	4	2	3	3		1		19
7歳以上	3	1	3				1		1		9
計	14	6	10	12	5	4	14	2	9	3	

3. サービス内容

人間の行動原理や学習理論に基づいた、行動療法によるセラピーを実施しています。セラピーには行動療法士、臨床心理士等、専門スタッフを配置しております。

療育プログラムについては、ひとり一人の子どもに適したプログラムをスタッフが作成しますが、保護者にも参加していただき、保護者の相談や教育も重視しています。

また、療育の質・効果を高めるために、順次療育時間・定員を改善しております。

● 平成 19 年 5 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日

種類	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別療育、集団療育	9:30～12:00	5名	約 800 円/1回
通所療育②	個別療育、集団療育	13:30～16:00	5名	約 800 円/1回
家庭訪問	家庭訪問により児童や家族の支援・指導	9:30～16:00	月 2 回まで利用可	1 時間まで約 200 円 1 時間以上約 300 円

● 平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

種類	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別・集団療育	9:30～10:30	2名	約 800 円/1回
通所療育②	個別・集団療育	10:30～12:00	3名	約 800 円/1回
通所療育③	個別・集団療育	13:30～15:00	2名	約 800 円/1回
通所療育④	個別・集団療育	15:30～17:00	3名	約 800 円/1回
家庭訪問	家庭訪問により児童や家族の支援・指導	9:30～17:00	月 2 回まで利用可	1 時間まで約 200 円 1 時間以上約 300 円

● 平成 20 年 4 月 1 日～

種類	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別・集団療育	9:30～10:30	2名	約 800 円/1回
通所療育②	個別・集団療育	11:00～12:00	2名	約 800 円/1回
通所療育③	個別・集団療育	13:00～14:00	2名	約 800 円/1回
通所療育④	個別・集団療育	14:30～15:30	2名	約 800 円/1回
通所療育⑤	個別・集団療育	16:00～17:00	2名	約 800 円/1回
家庭訪問	家庭訪問により児童や家族の支援・指導	9:30～17:00	月 2 回まで利用可	1 時間まで約 200 円 1 時間以上約 300 円

4. 関係機関との関係

保護者会に出かけての行動療法による療育についての説明や、教育機関、福祉機関に対して専門的な助言をおこなってきました。

また、幼稚園教諭や保育園保育士の見学受け入れ、園への児童デイ職員の派遣による、支援内容についての提言等も実施しました。

法人内での療育機能としては、行動療法の勉強会の開催、法人内施設の支援方法につい

て、アセスメントシートの活用による助言、職員の現地派遣によるコーディネート等を実施しました。

機関	実施日	形態	内容
じゃんぐるじむ	5/25	職員派遣	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法についてのガイダンス
軽度発達障がい 児親の会	6/13	職員派遣	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法についてのガイダンス
日進市特別支援 教育コーディネーター	8/7	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
長久手町ハート フルハウス	8/27	連係・調整	児童行動療育センターの利用について相談・説明
名古屋市保育園	11/15	見学受け入れ	行動療法にもとづいた療育内容・方法について説明
春日井市幼稚園	12/28	見学受け入れ	行動療法にもとづいた療育内容・方法について説明
淑徳大学クリニ ック	1/11	見学受け入れ	行動療法にもとづいた療育内容・方法について説明
法人施設はまな す	2/1	職員派遣	児デイ職員派遣による支援方法助言
春日井市幼稚園	2/7	職員派遣	児デイ職員派遣による支援方法助言
法人各施設	5/30、6/1、 6/5、11/23	学習会開催	久野先生による行動療法勉強会をKBPAK（こどもに役立つ行動原理についての知識）により各施設にて実施

5. 職員研修

研修名	実施日	主催	内容
講演会	6/7	めばえグループ	『発達障がいの療育の現場から』
研究会	6/16	中部行動療法・ 行動変容研究会	「3タイプの攻撃性が児童の仲間関係に与える影響」
ゆうこうの家第 1回教育講演会	7/29	ゆうこうの家	『発達に問題のある子どもの行動療育』 講師 小林重雄先生
学会	8/3.4.5	日本行動分析学 会	
学会	9/22.23.24	日本特殊教育学 会	障害児教育の新たなステージをむかえて
相談支援従事者 初任者研修	10/4,11	愛知県	相談支援従事者初任者研修講義部分
研究会	10/20	中部行動療法・ 行動変容研究会	Current Trends in Cognitive -Behavioral Therapy-CBT:New Directions

ゆうこうの家第 2回教育講演会	10/21	ゆうこうの家	『発達に問題のある子どものコミュニ ケーションへの支援—ことばの形成か ら心の理論』 講師 小林重雄先生
名古屋定例会	10/28	つみきの会	久野先生講演
研究会	11/23	日本子ども健康 科学研究会	21世紀の子育て・教育・医療をどう する!?
学会	11/23.24.25	日本LD学会	ディスレクシアを主体に一特異的LD への気づきと支援
学会	11/30 12/1,2	日本行動療法学 会	教育・福祉・健康分野への進展
サービス管理責 任者研修	12/4、2/6,7	愛知県	児童分野サービス管理責任者研修
研究会	12/15	中部行動療法・ 行動変容研究会	「社会不安障害の特徴と行動療法」 「強迫性障害臨床の基礎」
研究会	2/16	中部行動療法・ 行動変容研究会	「ソーシャルスキル研究のこれまで— 子どものSSTに焦点を当てて」 「うつ病の理解と治療法—行動理論・ 認知理論を中心に—」
研究会	3/9	東海北陸小児心 身医学研究会	「不登校の見方・考え方・対応の仕方」
研究会	3/15	美濃認知行動療 法研究会	「最近の行動療法の実践」

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域にお住まいの障害をもった方々の支援を視野に入れた活動を行ってきました。障害者自立支援法においても地域福祉の重要性、とりわけ、地域の支援ネットワークの構築が強調されています。

名古屋市の委託を受けて設置された「名東区障害者地域生活支援センター」は、日常の相談事業はもちろんのこと、障害者地域自立支援協議会の運営にも力を注いでいます。

また、平成 20 年 3 月から、「ハートフルアクト日進相談支援センター」を開設し、地域の相談支援体制の拡大を進めています。

1. 相談業務

(1) 新規相談の状況

平成19年度の新規相談者実数、内訳および相談内容は以下の通り。

基本的に、訪問や外来による相談者のみをカウントしており（＝相談受付の作成）、電話による短時間の情報提供や事業者調整のみのケースは入っていない。実態としては、「福祉サービスに関する相談」中の「移動・地域」の問い合わせが最も多く、知的障害児者の通学・通所時の移動支援のニーズは高いものの、事業者側の供給が追いついていないのが大きな課題となっている。男性ヘルパーの不足も、同性介助・行動援護という点では深刻である。

「社会生活に関する相談」中の「健康」「住まい」「家族・子育て」が多いのも特徴的。「健康」は医療との連携頻度の表れ。「住まい」は住宅改修関連の調整によるものである。

また、深刻な生活課題を抱える背景には家庭基盤の脆弱さが認められるが、障害者本人を取り巻く家族関係に起因していることも少なくない。また、お子さんの生活課題は必然的に親の子育ての問題でもある。この意味で、「家族・子育て」は生活課題の本質的要素とも考えられる。

● 居 所

	名古屋市内			市外	計
	名東区	緑区	計		
相談者数	39	1	40	2	42

● 年齢—性別

(歳)	児童（幼児～学齡児）				成 人					不詳	計
	～6	～12	～15	～18	～29	～39	～49	～59	60～		
男		1	1	1	2	3	3	5	6		22
女	3				2	6	2	4	2	1	20
小計	3	1	1	1	4	9	5	9	8	1	42
合計	6				35						

● 障害種別

種 別	知的	身 体	精 神	重複障害			不 詳	合 計
				知・身	知・精	身・精		
相談者数	19	15	2	4	0	2	0	42

● 相談内容（複数カウント）

【福祉サービスに関する相談】

	介護給付	訓練給付	旧法施設	移動・地域	他
相談件数	24	2	6	13	18

【社会生活に関する相談】

	金銭管理	健康	精神保健	不適応行動	就労	学校・進路
相談件数	8	11	3	2	2	3

住まい	意思伝達	外出・移動	家族・子育	社会参加	対人関係	その他
15	0	8	16	8	4	21

(2) 相談受付の状況（新規相談を含む）

平成19年度中に関わった相談支援利用者数、内訳および相談内容は以下の通り。1年間の相談業務そのものと言える。

利用者数が18年度の1.8倍と増えている。年齢や性別で見ても、全体的に数が底上げされている。

相談内容の傾向は新規相談と同様。日常的に関わりの必要なケースが15件ほどある。利用者数の増加とともに、サービス調整会議の開催件数も1.5倍となっているが、相談支援の要とも言える業務であり、実績数を最重視している。

● 居 所

	名古屋市内							市外	不詳	合計
	名東	守山	天白	瑞穂	緑	南	小計			
人	133	4	1	1	2	2	143	4	0	147

● 年齢—性別

(歳)	児童（幼児～学齢児）				成人					不詳	計
	～6	～12	～15	～18	～29	～39	～49	～59	60～		
男	2	3	5	3	10	10	13	13	12	3	74
女	3	4		1	12	10	6	10	6	9	61
不詳	1									11	12
小計	6	7	5	4	22	20	19	23	18	23	147
合計	22				102						

● 障害別

種 別	知的	身 体	精 神	重複障害			不 詳	合 計
				知・身	知・精	身・精		
相談者数	58	55	1	17	4	4	8	147

● 相談内容（複数カウント）

【福祉サービスに関する相談】

	介護給付	訓練給付	旧法施設	移動・地域	他
相談件数	81	8	20	45	54

【社会生活に関する相談】

	金銭管理	健康	精神保健	不適応行動	就労	学校・進路
相談件数	28	43	18	17	12	15

住まい	意思伝達	外出・移動	家族・子育て	社会参加	対人関係	その他
42	4	29	57	23	16	72

(3) 月別実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	訪問	52	55	39	53	33	31	36	22	31	33	38	36	459
	外来	27	30	27	25	27	26	30	37	35	34	39	42	379
	調整会議	6	1	2	4	5	3	4	3	5	3	3	4	43
	認定調査	5	7	15	20	11	9	12	7	6	8	4	8	112
	配食アセス	2	5	5	1	5	2	2	4	0	2	0	2	30

2. 名東区障害者自立支援協議会

平成19年3月に設立し、協議会を2回、第1部会（ライフステージごとの課題整理）と第2部会（精神障害の理解）を合わせて5回開催した。また、次年度に向けての運営体制検討にも重点を置いた。

今後、地域課題の検討の場として機能していけるよう、個別の調整会議や事例検討を踏まえた運営を心がけていきたい。

	開催日	種別	会場	内容（参加者数）
1	H19.5.23	第1部会	区役所	乳幼児期の療育システム（29名）
2	H19.7.23	第2部会	障害者SC	精神保健福祉施策の理解（22名）
3	H19.8.23	第1部会	障害者SC	学齢児の生活課題・学校生活（20名）
4	H19.9.28	協議会	区役所	前期事業報告と今後の検討（17名）
5	H19.11.16	部会検討会	区役所	第1部会のテーマ検討（10名）
6	H19.12.17	事務局会議	区役所	来年度の運営のあり方（6名）
7	H20.1.17	第2部会	障害者SC	医師講演：精神障害の理解（23名）
8		事務局会議		来年度の運営のあり方（4名）
9	H20.2.8	協議会	区役所	後期事業報告と来年度検討（18名）
10	H20.3.3	第1部会	障害者SC	事例検討：知的者の性問題（25名）
11	H20.3.21	事務局会議	区役所	来年度の運営のあり方（6名）

3. 関係機関との連絡調整会議等

会議名	実施日	参加機関等	内容
名古屋市障害者地域生活支援C連絡会	4/24,7/12, 10/18,12/19 3/19	名古屋市担当課 関係市機関 各区全支援C	居住サポート、認定調査、自立支援協議会、自立支援法見直し、他関連講演
支援C東ブロック連絡会	5/7,10/9	中・昭和・千種・名東各区支援C 名古屋市支援課	支援C間の連携のあり方、認定調査、報告書、サービス利用計画、助成金申請
名東区居宅介護事業者連絡会	6/10,8/9	区内居宅介護事業者	情報提供
主任中堅職員研修	6/13,6/29,7/25 9/19,12/5,12/8	名古屋市、名障連共催	障害者ケアマネジメント研修(アドバイザー参加)
名古屋市事業者説明会	4/24,10/26	名古屋市担当課 各種指定事業者	事業者向け制度説明
愛知県事業者集団指導	7/9,3/17	愛知県担当課 各種指定事業者	事業者向け制度説明
その他	5/15 名東区手をつなぐ育成会総会 6/19 「双葉」学習会 3/18 区社協地域福祉活動計画作業部会委員説明会		

4. 職員研修

名称	実施日	内容
見学研修	11/27	市、名障連共催による、障害者センター「尾張中部福祉の杜」の見学
後期高齢者医療制度説明会	1/7	各区で市民向けに行われた、厚生労働省担当者による制度説明会
成年後見制度研修会	2/6	行政担当者、支援C向けに行われた家庭裁判所担当者による制度説明会
相談支援事業、居宅介護等事業合同研修	2/25	県福祉協会主催による、「相談支援」「自立支援協議会」に関する講演とシンポジウム

QOLの向上を目指した取り組み

名東福祉会には、施設横断的な委員会が機能別に設けられており、利用者の生活の質（Quality Of Life）の向上を目指して、提供サービスのチェックや新たなサービスの提案を行っています。新事業体系移行を控え、各事業が連携して、法人全体として総合的なサービス提供を行うためにも、法人単位の情報共有や課題検討は必須と考えています。

ナイトケア事業の展開とともに、QOLの向上は、よりその重みを増します。

1. リスクマネジメント

(1) 目的

利用者個々のニーズに最大限応える上で、サービス提供上のリスク管理は必要不可欠であるという認識に立ち、法人単位でのリスクマネジメントを実施。リスクマネージャーを1名設置している。

リスクマネージャーは全職員から「ヒヤリ・ハット・事故報告書」を収集し、支援現場でのリスクの把握・法人全体での共有・分析とリスク軽減に努めている。単に事故防止に留まらず、安全で質の高いサービス提供を目指した職員教育や、苦情解決・サービス評価などの取り組みと連動したシステム作りが必要である。

(2) 構成

リスクマネージャー 1名

(3) 活動報告

● 報告件数

「ヒヤリ・ハット・事故報告書」は、WEB上のASPシステムを利用して、各事業所から提出される。平成19年度中に提出された件数は、以下の通りである。

報告区分	ヒヤリ	ハット	事故	苦情	その他	合計
		改善提案				
報告数	72	2	155	11	0	240

施設名	レジデンス日進	メイトウ・ワークス	天白ワークス	はまなす	児童デイ	その他	合計
報告数	135	29	19	63	0	2	248

※重複報告もカウント

● 報告内容

報告を内容別に見ると、「服薬」「自傷・転倒などによる怪我」が50%以上と突出しているが、環境整備や利用者情報の共有により防ぐことができるケースも少なくないことが、報告書から伺うことができる。また、曜日別に見てみると、あまりばらつきはないものの木・金曜日と週末に件数が増えている。

優先課題であった「情報の共有」も今年度より報告に対してコメントを入れることができるようになり、個人レベル・各事業所に留まらず、法人全体で意見交換ができるようになった。

● 今後に向けて

報告の事例を参考に各事業所で同様な事故が起こらないよう、ヒヤリ・ハットの報告が今後も積極的に活用され、法人全体で事前に危険を回避するという活動につながるよう努めたい。

2. 給食委員会

(1) 目的

利用者の健康管理・安全管理の観点から給食サービスの内容をチェックし、委託業者との連携を密にし、法人全体の食の質の向上を目指す。

(2) 構成

各施設職員 1 名（法人栄養士を含む）

(3) 活動報告

毎月第 2 水曜日に実施（4/16 5/9 6/13 7/11 8/8 9/12 10/17 11/14 12/12 1/18 2/13 3/19）。

- ・ 委託給食業者変更
法人管理栄養士を中心に業者選考を約 6 ヶ月間かけて行い、対面審査会を経て、3/1 より変更。
- ・ 各月の提供方法のチェック
- ・ 委託業者との折衝、交渉
- ・ 利用者個別対応の検討

3. グループホームミーティング

(1) 目的

2 箇所のホームにおけるサービス内容の標準化と個別支援方法を見直す。運営状況や課題を法人レベルで把握、検討し問題の共有化を図る。

(2) 構成

各ホーム世話人、管理者及びナイトケア責任者

(3) 活動報告

- 5/ 2 個別アセスメントシート作成、確認、修正
新規利用者の利用状況報告と確認
- 6/ 1 個別支援計画の作成、確認、修正
- 6/15 利用者個別対応の確認
- 7/31 各ホームの報告（問題の共有化、孤立した環境にならない）
警報等発令時の対応確認
- 9/ 6 法人防災訓練結果検証
- 10/19 制度説明と給付費明細書確認
- 11/ 8 個別支援計画の見直し
こいけホームの緊急バックアップの確認（1 週間）
- 11/29 個別支援計画の見直し
個人記録の整理方法
天白ホームの緊急バックアップ（3 月末まで）・業務引継ぎ確認

4. 機関誌「WORKS」編集部

2005年（平成17年）8月のNo.101より休刊していたが、平成19年度に入り、法人ホームページブログとタイアップさせた形で復刊。法人事業の動向や「奈々枝日記」（法人会長ブログ）から制度状況、地域相談事業のエピソードまで、内外の話題を掲載して毎月発行した。

No.	発行年月	主な内容
102	平成19年4月	「名東福祉会のご後援をお願いします」「行政情報」
103	5月	「児童行動療育センター認可に寄せて」「センター設立旨意書」
104	6月	「食べるということ」
105	7月	「障害者自立支援法を前向きに考える」
106	8月	「楽しい施設ライフ」
107	9月	「相談窓口の充実を」
108	10月	「原点に返って地域福祉を考えよう」
109	11月	「生産消費活動という視点」
110	12月	「消費税増税は障害者福祉に幸せをもたらすか」「生活介護施設」
111	平成20年1月	「年頭のごあいさつ」
112	2月	「日本の障害者福祉は先進国の中では遅れている」
113	3月	「福祉は生活の質を高めることを最優先すべき」「療育技術研修」

地域交流事業

名東福社会の運営する各事業所は、地域住民の皆さんにとっても価値の高い存在であることを目指しています。ボランティアの方々に留まらず、誰もが気軽に利用できる地域センター的な役割を担っていきたいと考えています。そのために、地域イベントへの関わりや近隣団体との交流を大切にします。

それこそが、利用者の **QOL** の向上の一番の近道でもあります。

1. 地域イベント

	実施日	内 容
メイトウ・ワークス	4/11	厚生院春まつり招待参加
	5/13	「名東の日」香流川フェスタバザー出店
	7/14	めいとうボランティア展 in 愛知淑徳大学 CCC 参加
	9/12~13	名東高校学園祭バザー出店
	9/28~29	東邦高校学園祭バザー出店
	11/13	高針北保育園「あそびひろば」招待参加
	2/24	めいとう福祉まつりバザー出店
天白ワークス	8/4	あけぼの学園盆踊り大会
	9/8,9	せとものまつり
	9/16	名城大学バザー
	10/21	御前場秋祭り、あけぼの学園バザー
	10/28	天白区民のつどい
	2/20,21	福祉の店
はまなす	7/14	めいとうボランティア展 in 愛知淑徳大学 CCC 参加
	2/24	めいとう福祉まつり参加
レジデンス日進	6/2	あじさいコンサート（日進 ゆったり工房主催）参加
	9/16	愛歩まつり（日進 愛歩主催）参加
	10/14	ゆったり工房まつり参加
	11/11	にしん市民まつり参加
	12/8	レジデンス日進まつり主催

2. 陶芸教室

● 出張陶芸教室（メイトウ・ワークス）

名古屋市厚生院（月 1 回）へ職員が利用者とともに出張し、陶芸を通じて高齢者との交流を図った。

● 地域陶芸教室（メイトウ・ワークス／天白ワークス）

地域の子ども会や保育園、高齢者などが施設内の陶芸室を利用。製作工程や作品へのアドバイスをを行う。

3. ボランティア受け入れ状況

利用者ひとりひとりのニーズに応じたサービスの提供を進めるため、地域ボランティアの受け入れを積極的に行った。より多くの方々に来所していただくことは、利用者との関わりは基より、地域に開かれた施設であるために必要不可欠であると考えている。

	活動内容	年間延人数
メイトウ・ワークス	作業やレクリエーション、イベントのサポート	304名
天白ワークス	〃	432名
はまなす	〃	255名
レジデンス日進	ユニット内の清掃・イベントのサポート	380名

4. その他

- 施設の貸し出し（メイトウ・ワークス／レジデンス日進）
地域の町内会や子ども会、高齢者グループ、子育て世代の母親の勉強会を中心に、休業日や施設の空きスペースを開放。年間延 75 団体が両施設を利用した。
- 実習学生等の受け入れ（全施設）
各施設、中学校からの職場体験実習や大学からの介護体験、専門学校からの現場実習の受け入れを随時行った。レジデンス日進には、隣接する学童保育所の児童が、夏休みを利用してボランティア活動を体験した。
- 移動図書館への駐車場開放（メイトウ・ワークス）
移動図書館の駐車ポイントとして施設を開放し、地域の方々とともに利用した。

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <http://www.meito.or.jp/modules/sections/>

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
知的通所授産	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2863	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
相談支援	名東区障害者地域 生活支援センター	同 上	同 上	同 上	同 上
生活介護 就労継続	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
知的通所更生	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
知的入所更生	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
地域活動支援 センター 相談支援	ハートフルアクト 日進	同 上	(052)805-1012	同 上	同 上
児童デイサー ビス	行動療育センター たけのこの家	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 14-3	(052)800-2203	(052)800-2204	ABA@meito.or.jp
知的グループ ホーム	こいけホーム	〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1	(052)777-8385	(052)777-8385	koike-h@mocha.ocn.ne.jp
知的グループ ホーム	天白ホーム	〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3	(052)807-1578	(052)807-1578	tenpaku-h@muse.ocn.ne.jp

